

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2012年第2号(週報・月報合併号)

2012年第2週(1月9日~1月15日)、月報12月

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

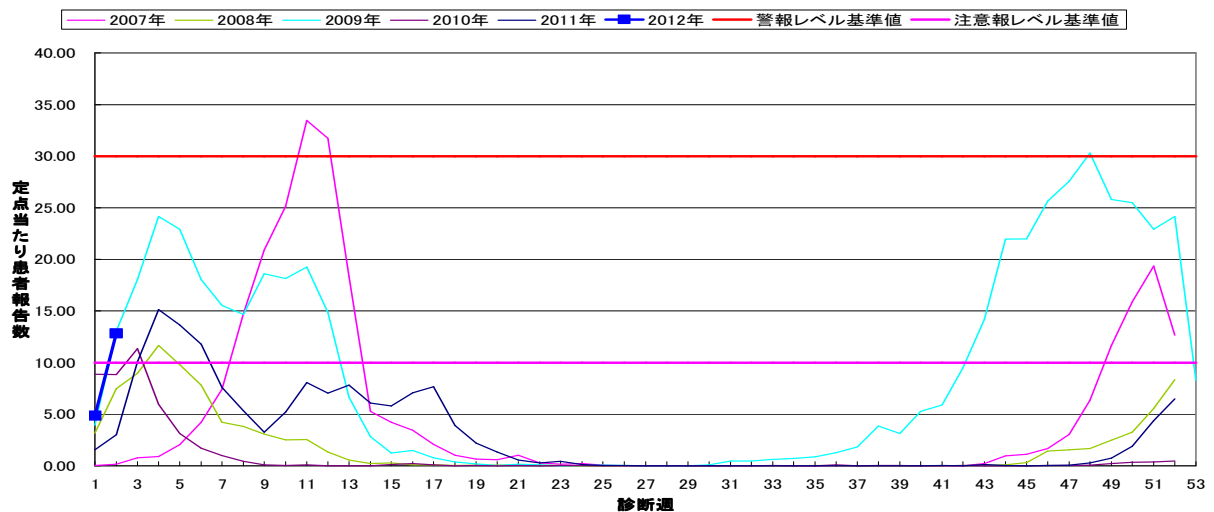
— インフルエンザ：流行本格化、新宮保健所管内で警報レベル基準値を超える！ —

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は12.84人(第1週:4.86人)と前週に比較して急増しています。保健所別では、新宮保健所管内で警報レベル基準値を超える流行が確認されており、和歌山市、岩出、橋本、湯浅、田辺保健所管内でも注意報レベル基準値を超えています。

国立感染症研究所感染症情報センターの発表によると、全国の定点当たり患者報告数も今週は7.33人(第1週:3.76人)と前週から急増しています。また、原因ウイルスは同センターの病原微生物検出情報によるとAH3亜型が全体の約90%を占めています。

今後、さらなる患者報告数の増加や流行地域の拡大が考えられます。感染を予防するために、うがい・手洗いの励行や、マスクの着用等による咳エチケットを心がけてください。

インフルエンザ(和歌山県全体)



保健所管内	警報・注意報	第2週の患者数	第1週の患者数	増減
和歌山市	注意報	10.87人	5.07人	↑
海南	—	7.67人	1.67人	↑
岩出	注意報	10.00人	12.67人	↓
橋本	注意報	12.33人	4.00人	↑
湯浅	注意報	10.00人	1.40人	↑
御坊	—	6.67人	1.00人	↑
田辺	注意報	19.43人	5.14人	↑
新宮	警報	36.00人	3.33人	↑
串本支所	—	4.00人	0人	↑

一 感染性胃腸炎：患者報告数、増加！ 一

今週の県全体の患者報告数は6.19人（第1週：3.03人）と前週に比較して増加しています。冬季の感染性胃腸炎はウイルス性のものが多く、中でも、この時期はノロウイルスが多くなっています。ノロウイルスの感染力は強く、患者の吐物・便から手指を介して感染することも多いため、その取り扱いに注意が必要です。

感染性胃腸炎の感染予防としては、次のようなポイントがあります。

○手を洗いましょう。

外出先から帰った後や、トイレの後、調理の前には、消毒液や石けんで十分手を洗いましょう。タオルは共有せず専用のものにしましょう。

○食品の取り扱いに注意しましょう。

加熱する場合は、食品の中心まで火が通る（85℃、1分）ようにしましょう。まな板、包丁、ふきん、タオル等も熱湯（85℃以上）で1分以上の加熱が有効です。

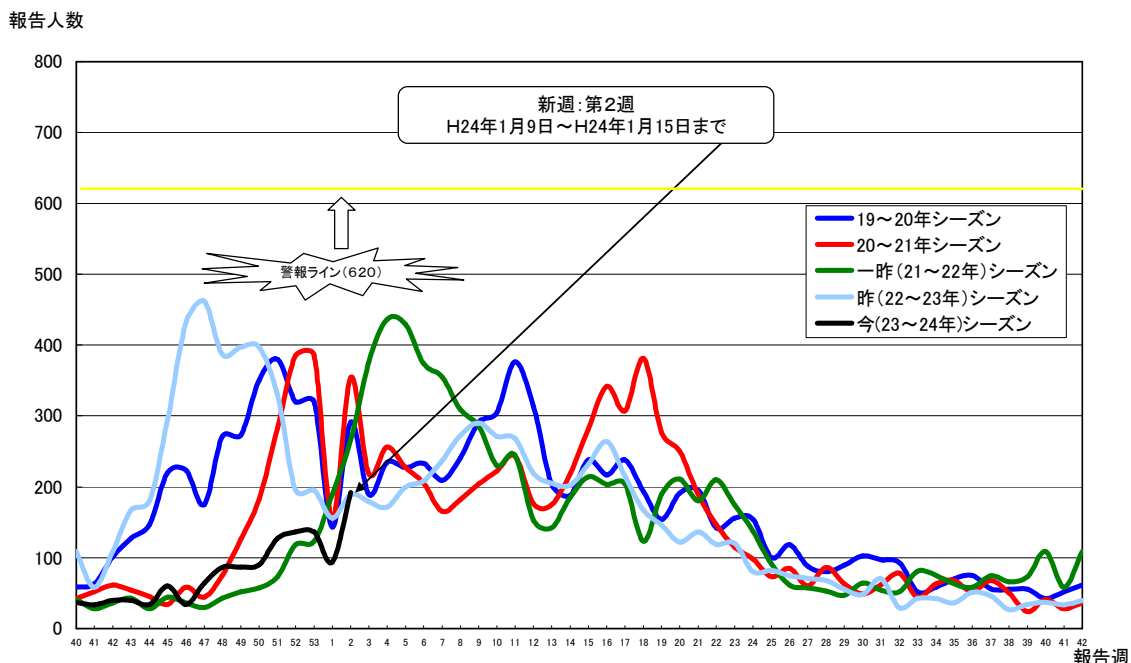
○患者の吐物等の処理に注意しましょう。

素手で触らないように使い捨てビニール手袋等を着用しましょう。使い捨て布等で拭き取った後、ビニール袋などに入れて外に漏れないようにして捨てましょう。汚染された床は、塩素系漂白剤を約200倍程度に薄めてペーパータオルなどでふき取り、30分ぐらいたら、十分水ぶきをしておきましょう。

※塩素剤の取り扱いは、ビニール手袋などして、十分換気しましょう。

※金属物は腐食を起こすので消毒後十分拭き取りましょう。

感染性胃腸炎推移(県内31定点医療機関集計分)



－ その他の感染症 －

－ **咽頭結膜熱** ： **岩出保健所管内の流行終息へ** －

岩出保健所管内の定点当たり患者報告数は1.25人（第1週：1.75人）で、警報レベル終息基準値（1.0人）を超えています。県全体の報告数は0.23人でした。

－ **伝染性紅斑** ： **岩出保健所管内で警報レベル開始基準値を超える** －

岩出保健所管内の定点当たり患者報告数は2.25人（第1週：0.5人）で、警報レベル開始基準値（1.0人）を超えています。県全体の報告数は0.58人で特段多い状況ではありません。

－ **水痘** ： **海南保健所管内で注意報レベル基準値を超える** －

海南保健所管内の定点当たり患者報告数は4.00人（第1週：4.00人）で、注意報レベル基準値（4.0人）となっています。県全体の報告数は1.32人（第1週：1.65人）でした。

○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	－
感染性胃腸炎	20	12	－
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	－
伝染性紅斑	2	1	－
百日咳	1	0.1	－
ヘルパンギーナ	6	2	－
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	－
流行性角結膜炎	8	4	－

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「－」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

- 1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。
 - 1類感染症：報告はありませんでした。
 - 2類感染症：結核 4名
 - 3類感染症：報告はありませんでした。
 - 4類感染症：つつが虫病 1名
 - 5類感染症：報告はありませんでした。

- 2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	10
つつが虫病	1

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

- インフルエンザ（新宮保健所管内）
- 咽頭結膜熱（岩出保健所管内）
- 伝染性紅斑（岩出保健所管内）

注意報レベル

- 水痘（海南保健所管内）
- インフルエンザ（和歌山市、岩出、橋本、湯浅、御坊、田辺保健所管内）

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本支所
インフルエンザ	報告	163	23	60	74	50	20	136	108	8
	定当	10.87	7.67	10	12.33	10	6.67	19.43	36	4
RSウイルス感染症	報告	8	2	6	-	1	1	-	1	-
	定当	0.89	1	1.5	-	0.33	0.5	-	0.5	-
咽頭結膜熱	報告	2	-	5	-	-	-	-	-	-
	定当	0.22	-	1.25	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	4	1	11	-	-	5	9	-	-
	定当	0.44	0.5	2.75	-	-	2.5	2.25	-	-
感染性胃腸炎	報告	80	10	29	9	7	5	19	33	-
	定当	8.89	5	7.25	2.25	2.33	2.5	4.75	16.5	-
水痘	報告	18	8	2	2	8	-	1	2	-
	定当	2	4	0.5	0.5	2.67	-	0.25	1	-
手足口病	報告	2	-	1	1	1	-	2	-	-
	定当	0.22	-	0.25	0.25	0.33	-	0.5	-	-
伝染性紅斑	報告	3	-	9	1	2	-	3	-	-
	定当	0.33	-	2.25	0.25	0.67	-	0.75	-	-
突発性発疹	報告	7	-	9	2	5	-	1	-	-
	定当	0.78	-	2.25	0.5	1.67	-	0.25	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	1	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	0.33	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	1	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	0.5	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	2	-	-	2	-	…
	定当	-	…	-	1	-	-	1	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

12月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が1.91人(11月:2.27人)と最も多くなっています。患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の86%占めています。その他の感染症は、毎月0～数名と和歌山県では特に多くはありません。

【12月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	18
	定当	1.91	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	0.09	0.09	1.64
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	定当	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	0.09
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性アシネトバクター感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2012 年第 2 号

発行日：平成 24 年 1 月 19 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意下さい。